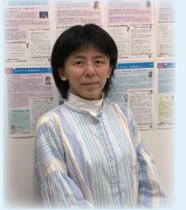




日本とちょっと違うよ - 通訳者よもやま話 - Vol.13 英語担当 岡本さん

コロナ禍以降で、マスク着用が個人の判断に委ねられるようになりましたが、マスクについては過去に海外で冷や汗をかいた経験があります。

以前の勤め先で米国へ出張したときのことで、初日に同行者の希望で政府機関の建物内にあるギフトショップへ行くことになりました。季節は秋から冬にかけてという頃で、同行者の一人がマスクを着用していました。海外ではマスクをしていると深刻な病気と疑われるということを知っていたため、マスクを外しておいた方がいいと伝えたのですが、聞く耳を持ってくれませんでした。そのまま建物内に入ろうとしたところ、入口にいた係員に呼び止められました。マスク着用の理由を尋ねられ、普段は英語を話さない当の本人が、なぜかそのときだけ英語で答えました。“pneumonia (肺炎)”と。いきなり何を言い出すのか、と私はびっくり仰天。係員の表情もすぐさま変わりました。私は、肺炎ではないと知っていたので、自分たちは日本から来て…日本では寒くなると…等、必死で説明しました。本当に肺炎であればここにいるわけはないと伝え、最終的には不承不承ながらも中に入れてもらえました。政府機関だったから厳しかったのでしょうか。



政府機関内のギフトショップで購入したクリスマスオーナメント

コロナ禍が落ち着きを見せ始めても、時と場合に応じて引き続きマスクを着用されている方は海外でも一定数いらっしゃるようです。とはいえ、マスク着用は非日常という感覚が大半なようなので今後も少し注意が必要かもしれませんね。

Medi-Wayの新しいロゴをご紹介します！

2015年の発足以来なじんできた「Medi-Way」のロゴを、このたび一新しました。新しいロゴデザインのコンセプトをご紹介しますね。

ロゴの両端にあるブルーの円は、患者様と医療者の皆さんを、その二つをつなぐエメラルドグリーンの道(way)は、「安心」「スムーズ」なコミュニケーションを表しています。そして中央のピンクのハート、これが私たち Medi-Way の通訳者です。外国人患者様には日本で安心して医療を受けていただけるように、医療者の皆さんには、私たち医療通訳者を通じてスムーズな医療の提供ができるように、心(ハート)をこめて通訳を行っていきたいという思いを込めました。

コロナの落ち着きとともにインバウンドの復活もあり、外国の方が日本の医療を利用される機会はますます多くなると考えられます。新しいロゴとともに、今後ともどうぞよろしくお願いいたします！



今月のピックアップ

「ところ変われば順番も？」



私たち通訳センターでは、普段いろいろな言語が飛び交う中で「あれ、そちらの言葉ではそうなの？」みたいな、ちょっとした違いに思わず空気が和むことがよくあります。以前「ウサギ年」がベトナムでは「ネコ年」であるというご紹介をしましたね。

そこで今回は方角の順番についてお話します。日本語では「東西南北」と言いますね。麻雀をご存知の方は「東南西北(トナンシャーパーイ)」にも馴染みがありそうですが、実は中国語では日本と同じ「東西南北」の順番で言います。この順番はベトナム語も同じです。では英語は？答えは「North, South, East and West」つまり「北南東西」です。スペイン語、ポルトガル語でも同じでした。

ところが、例えば中国語で「東西南北」は日本と同じ順で言いますが、「北東の風」をいう時は「东北风(東北風)」になります。ベトナム語も同様「gió mùa Đông Bắc(東北の風)」です。では英語は？これがなんと「Northeast wind」北東の風で日本語と同じ順番になるんですね。

ところ変わればいろいろなものが変わるようです。通訳者の語るよもやま話だけでなく、今後もっと「あれ？」を皆さんにお届けして和んでいただけたら、と思います。

